

福祉ボランティアの活動から

< 中学校 >

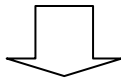
- 目的 障害者、高齢者、幼児・児童との交流をとおして、人とのつながりを実感する。
- 社会的弱者が住みよい社会こそ、誰にとっても住みよい社会であることを学び実践的態度を育む。
- ボランティアを通して、自分の生き方を考える。

気づく

「ボランティア」って何だろう

ボランティア団体について調べる。
様々なボランティアがあることに気づき、体験した人の思いに共感し、ボランティアに対する関心を高める。

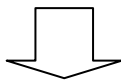
新聞記事
体験者の
感想文
NPO団体



広げる深める

福祉ボランティアの方から話を聞く

地元で活動されておられるボランティア団体の方から、活動に対する思いを聞き、活動内容を知ることによって理解を深める。

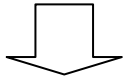


計画する 1

技能と豊かな表現を身につけよう

福祉施設や幼稚園・保育園を訪問する際の活動内容を目的に合わせて計画する。
訪問する際に必要な表現・表情や技能を知り練習を積む。

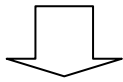
グループに分かれて実技講習を受ける。
・布絵本
・人形劇
・手話
・点字
・紙芝居
・絵本の読み聞かせ



計画する 2

訪問先について調べよう

高齢者福祉施設・障害者福祉施設・保育所・幼稚園・共同作業所など具体的な訪問先を決定する。
訪問先の人々の願いや生活を大切にする。
訪問先の施設については、状況を十分把握しておく。

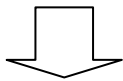


実践する

福祉ボランティア活動を展開しよう

習得した技能や表現力を通して、施設の方々との交流を深め、心のつながりや互いの理解を深める。

高齢者福祉施設
障害者福祉施設
保育園、幼稚園
その他の施設



振り返る

つながりを大切にしよう

施設や施設の方々とのつながりが長く続く取り組みとなるようにする。
一度つながった福祉施設と長期的でより発展的な関係を維持し続けるために、先輩から後輩への引き継ぎにも工夫する。

まとめる 全校集会等で発表する。
学んだ技術や訪問した体験を後輩に教え指導する。

【学習を進めるにあたって】

- ・福祉施設との日常的なかかわりやつながりを広げる取り組みに発展することが大切である。
- ・技能の習得が目的とならないよう注意する必要がある。技能を通して人と人とのつながりを広げることが大切である。